



社員・シャインな職場訪問記 46



令和2年度「奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業・仕事と家庭の両立推進部門」の表彰企業は、女性への育児支援はもちろん、男性の育児休業取得も積極的に推進されている**社会福祉法人功有会様**です。人財育成部の青木由実様と、平池智子様にお話をうかがいました。



社会福祉法人功有会

事業内容：高齢者福祉、児童福祉
所在地：北葛城郡広陵町三吉169
TEL：0745-55-5383
URL：<http://www.yamatoen.or.jp>

全職員の約8割を占める女性はもちろん 男性の育児休業取得も積極的に支援

かつては注目され、仕事として志す人も多かった福祉業界ですが、最近は業界全体として人手不足が課題となっています。功有会ではその課題解決のためにも、長く働き続けられる「働きやすい職場づくり」を進めています。特に、全職員の約8割を占める女性に対しては、出産や子育てがネックにならないよう、育児休業取得はもちろん、育児短時間勤務制度も整備しています。なかには、パートから正職員、そして今では所長を務めている職員もおり、役職者の約8割が女性です。最近では、男性の育児休業の取得を積極的に推進しており、この3年間で5名が利用しました。

時間外勤務をしない、させない 職員の意識改革を実現

功有会では、以前から週1日の「ノー残業ディ」を設定していましたが、プライベートな時間の充実のためには、時間外勤務は決して良いことではないという職員の意識改革が必要でした。数年前から自己評価シートの中に「残業をしていないか」

「仕事量を把握できているか」「部下が残業をしていないか」というチェック項目を加えるなどの取り組みを行った結果、今では「ノー残業ディ」が形骸化するほど、ほとんど時間外勤務や休日出勤する職員はいなくなりました。

有給休暇についても同様で、積極的に取得を推進していますが、誰かが休暇を取っても十分にフォローできるよう人員に厚みを持たせて運営しており、そうした余裕が利用者へのサービスの質の向上にもつながっていると考えています。

正規職員と非正規職員の間で待遇差のない 働き方を選択できる柔軟な体制づくりを

私たち“人財育成部”は、どうすれば職員がより働きやすくなるかを考えることが大切な仕事です。職員一人ひとりの成長が、功有会の発展にもつながると考えており、いつも同じ職員が同じ笑顔で対応していることが、利用者の安心、信頼につながります。

昨年4月から、資格の取得支援や福利厚生などの待遇面を、正規・非正規職員の区別なく全職員同じにしました。その時のライフステージに合わせて働き方を選んでもらえる柔軟な体制づくりを今後も進めていきます。

